

(3)貸借対照表 貸借対照表は、一定時点(決算日)における資産、負債、基本金の内容と在高を明示して学校法人の財政状況を明らかにしています。

貸借対照表 平成30年3月31日

資産の部 (単位:百万円)				負債の部 (単位:百万円)			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,760	9,956	△ 195	固定負債	671	403	268
有形固定資産	8,184	8,422	△ 238	長期借入金	200	0	200
土地	1,023	1,023	0	退職給与引当金	383	402	△ 19
建物	5,538	5,838	△ 300	長期未払金	88	1	87
構築物	306	331	△ 26	流動負債	563	1,355	△ 792
教育研究用機器備品	359	312	46	短期借入金	0	14	△ 14
管理用機器備品	38	33	5	未払金	79	141	△ 62
図書	898	884	14	前受金	450	431	20
車両	22	0	22	預り金	34	33	0
その他の固定資産	1,577	1,533	43	災害損失引当金	0	736	△ 736
有価証券	20	20	0	負債の部合計	1,233	1,757	△ 524
退職給与引当特定資産	550	550	0	純資産の部			
減価償却引当特定資産	100	100	0	科目	本年度末	前年度末	増減
施設設備引当特定資産	726	676	50	第1号基本金	13,522	13,484	38
第3号基本金引当特定資産	176	176	0	第3号基本金	176	176	0
奨学寄附金引当特定資産	0	6	△ 6	第4号基本金	148	148	0
その他	5	6	△ 1	基本金の部合計	13,846	13,808	38
流動資産	1,293	1,157	135	翌年度繰越収支差額	△ 4,026	△ 4,453	427
現金預金	865	1,027	△ 161	繰越収支差額の部合計	△ 4,026	△ 4,453	427
未収入金	410	112	298	純資産の部合計	9,820	9,355	464
有価証券	0	0	0	負債及び純資産の部合計			
仮払金他	17	19	△ 1	科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部合計	11,053	11,113	△ 60	負債及び純資産の部合計	11,053	11,113	△ 60

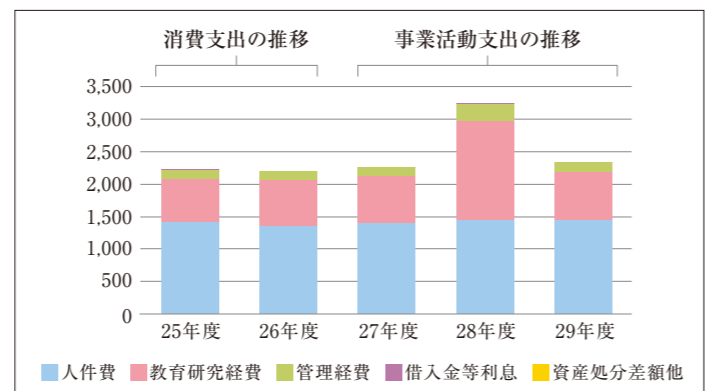
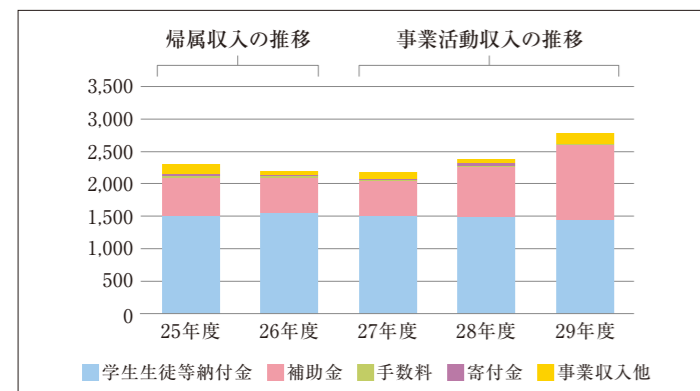
平成29年度末における固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)を合わせた資産の部合計は11,053百万円で、建物や教育研究用機器備品の償却が進んだことにより、前年度末と比べて60百万円減少しました。一方、長期借入金等の固定負債と短期借入金及び未払金等の流動負債の合計額は1,233百万円となり、前年度末と比べて524百万円減少しました。これは平成28年度に計上した災害損失引当金736百万円が震災復旧工事の完了により減少したことに依るものです。

平成25年度から平成26年度まで「消費収支の推移」

収入の部	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	1,505	1,546
補助金	574	544
手数料	31	26
寄付金	32	18
事業収入他	154	67
帰属収入合計	2,295	2,201
基本金組入額合計	△ 405	△ 134
消費収入の部合計	1,890	2,067
支出の部	平成25年度	平成26年度
人件費	1,406	1,354
教育研究経費	664	704
管理経費	149	137
借入金等利息	3	2
資産処分差額他	0	2
消費支出の部合計	2,223	2,199
当年度消費支出超過額	332	132

平成27年度から「事業活動収支の推移」 (単位:百万円)

収入の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生生徒等納付金	1,504	1,482	1,443
経常費等補助金	532	770	1,144
手数料	26	23	23
寄付金	15	35	6
付随事業収入+雑収入	94	72	66
事業活動収入計	2,173	2,386	2,680
基本金組入額合計	△ 315	△ 25	△ 39
支出の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人件費	1,397	1,434	1,443
教育研究経費	717	1,528	733
管理経費	145	269	158
教育活動外支出	1	1	0
特別支出	0	0	4
事業活動支出計	2,260	3,232	2,338



## 2. 事業の概要

### 学校法人 尚綱学園

#### (1)組織・運営態勢改革

- ①会計処理状況・公的研究費の執行状況等の内部監査を実施。
- ②規程と業務との整合性を検証し、規程の改廃を実施。
- ③大学・短大の外部認証評価実地調査が行われ、大学・短大ともに適格と認定。
- ④公式アカウント「LINE@」の運用を開始。
- ⑤品位・品格のある職場風土確立のため、全教職員による「あいさつ運動」を実施。また、毎月末日をクリーン・アップデーと定め業務・職場の整理・整備・清掃等を実施。

#### (2)財政改革

- ①中期財務計画を改定し、財務運営の実現に注力。
- ②入学定員確保に向け、入学者の経年比較や志願者動向調査データを分析し、効果的な募集活動方策を実施。

#### (3)人事・人材改革

- ①中期人員計画を作成し、事務量調査結果を基に適正な人事・人員配置を実施。
- ②教職員の資質・能力向上を図るため、計画的・積極的に学内外の研修を実施。

#### (4)環境整備改革

- ①既存施設有効活用の一環として「NHK公開復興サポート明日へin熊本」の会場として提供。
- ②中期施設整備計画を作成し、計画に則り詳細を検討。
- ③IT環境の整備として、中学・高校の建物においてICT教育を視野に学内無線LANを構築。

### 尚綱大学・尚綱大学短期大学部

#### (1)教育

- ①幼児教育4年制課程を視野に、他大学視察及び保育協会等と意見交換等を実施。
- ②フードサイエンティスト資格の調査研究を行い、当該資格の次年度からの導入を実施。

#### (2)学生支援

- ①障がい等特別支援を要する学生の環境整備として、一部階段に両側手すりを設置。
- ②学生生活に関する実態調査を実施し、集約した調査結果を学生に公表。

#### (3)研究

- ①科研費及び外部研究資金の公募情報の提供と科研費申請に関する説明会を実施。
- ②熊本市・菊陽町・合志市と包括連携協定に基づき、研究活動を推進。

#### (4)地域連携・社会貢献

- ①包括連携協定締結先と定期的な進捗状況等の意見交換を実施。
- ②自治体等が実施する各種イベントに参加。
- ③子育て研究センター公開シンポジウム・サマーセミナー・文化言語学部公開講座・尚綱公開講座等を開催。

#### (5)国際交流

- ①国際交流委員会としての「国際化ビジョン」案を作成。
- ②新たな交流協定締結先として英語圏(マレーシア)や東アジア(中国)の大学を視察。

#### (6)IRと自己点検・評価

- ①IR業務に精通した人材育成・スキルアップのため、IRに関する外部研修会に参加。
- ②外部認証評価実地調査が行われ、大学・短期大学部ともに評価基準を満たし適格と認定。
- ③PDCAサイクルを確立させるため、アンケート等様々な取り組みについて各委員会等の場で検討。

### 尚綱中学・高等学校

#### (1)教育

- ①礼法教育推進として全生徒のマナー検定上級の合格を目標とした取り組みの実施。
- ②小論文講座、小論文模試、志望理由書添削等の入試に役立つ取り組みを実施。
- ③過去の海外修学旅行について内容の検証と行先を再考し、初めて台湾修学旅行を実施。

#### (2)生徒支援

- ①進路指導の充実のため、各研修会等に参加し、進路情報の共有を徹底し連携を強化。
- ②教育相談充実のため、保護者対象の教育座談会を実施。
- ③外部の各種研修等や他校視察を行い、指導力・授業力の向上に繋がる取り組みを実施。

#### (3)地域貢献

- ①熊本城マラソンボランティアに約100名の生徒が参加。
- ②九品寺校地周辺の清掃活動や産業道路沿いの花壇へ花の植栽を実施。

### 尚綱大学短期大学部附属こども園

#### (1)教育・保育内容の改革

- ①自然環境の整備として専門家による講演「遊びを創り出す園庭」を実施。
- ②食育活動の推進として季節に応じた種まき・苗植え・栽培・収穫・調理体験を実施。
- ③園内研修や外部の各種研修会に参加し、教育・保育の指導力向上に繋がる取り組みを実施。

#### (2)保護者支援

- ①保護者向け子育て講演会や個人面談・おしゃべり広場・保育参観での保育体験等を実施。

#### (3)地域連携

- ①地域老人会等と運動会・もちつき・昔遊び等のふれあい交流を実施。
- ②中高大生(西合志南中・武蔵ヶ丘中・尚綱高校・鹿児島国際大学)による実習等を実施。
- ③幼小連携を図るため、授業参観(菊陽西小・合志南小・武蔵小)への参加や幼小連絡会(南ヶ丘小・武蔵ヶ丘北小)を実施。